

平成25年度支えあいまちづくり協働支援金採択事業報告会
第2回ほづがわチャリティファンラン

特定非営利活動法人プロジェクト保津川



ほづがわチャリティ・ファンランの概要

目的

- 大人から子供まで、自然豊かな保津川の景観の中を、それぞれの体力に応じてランニングを楽しむことで、新たなスポーツ文化を創造する。
- スポーツを通じた「チャリティ」によって、今後の保津川にかかわるさまざまな市民活動を継続的・自立的に支える仕組みの構築をめざす。

運営

- NPO法人プロジェクト保津川とNPO法人亀岡子育てネットワークの共同で事務局を運営。
- 協力：市内の企業・団体、亀岡市、京都府南丹土木事務所等



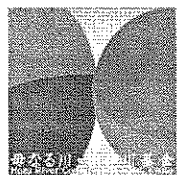
事業の概要

- 開催日：2013年12月1日（日）
- 会場：保津大橋近くの堤防上をスタート・ゴールとし、保津河川敷を周回するコース（1周2.5km）
- 実施種目：10km・5km・2.5km・フリー・ウォーキング
- 対象者：すべての市民ランナー
 - 幼児からシニアまで全年齢を対象
- 参加費：大人2500円・中高生 500円・小学生以下 200円
 - 事前エントリーの参加者には記念品を配布
 - 当日エントリー：大人3000円・中高生800円・小学生以下300円

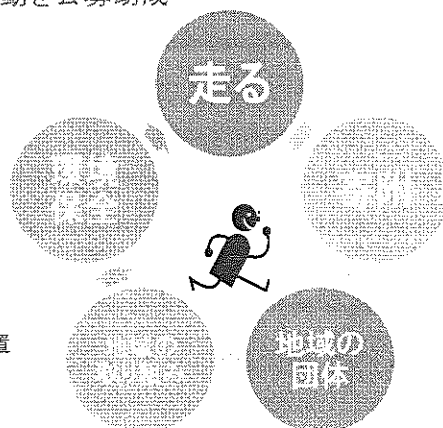


母なる川・保津川基金

- 収益は「母なる川・保津川基金」に寄付
 - 保津川流域の市民活動を公募助成
 - 協力団体に優先配分

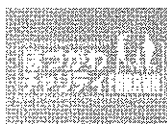
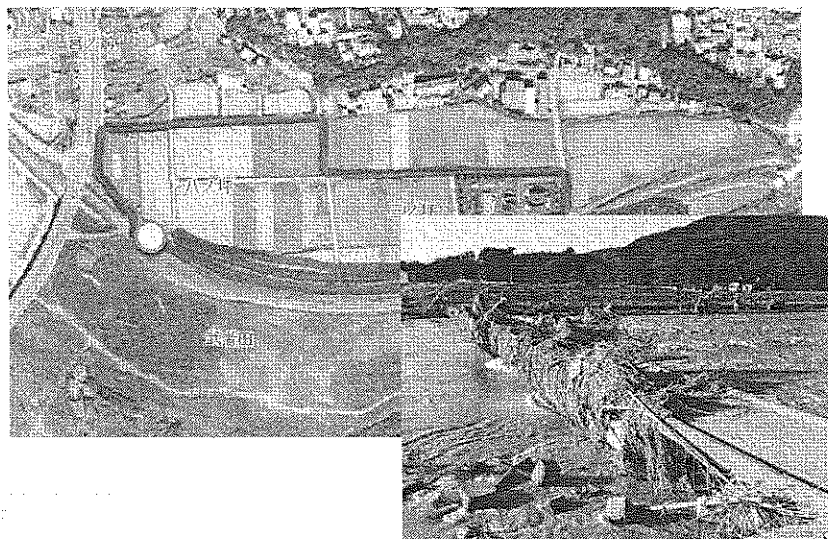


（公財）京都地域創造基金内に設置





コース図



今年度の重点的な取り組み内容

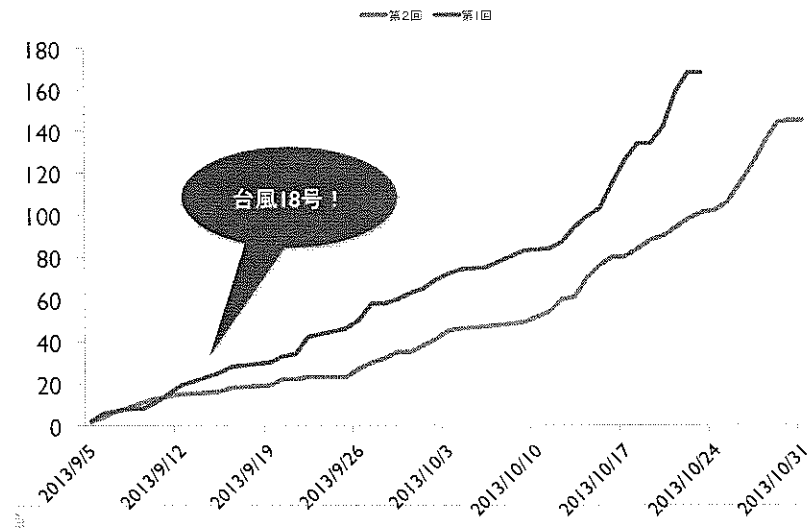
- ▶ 大会ホームページに、ランナー向け情報サイト、Facebookなどを積極的に活用して情報発信
- ▶ 亀岡市役所の協力により、市内全幼・保育園、小中学校でチラシ配布。
- ▶ 市内公共施設、ふるさとバスでのポスター掲示
- ▶ 保津町自治会、篠町自治会の協力により、回覧板にて全戸配布
- ▶ 託児サービス(有料)、キッズスペース(無料)を設置し、参加者層の拡大を図る。



参加者総数: 選手358名 ボランティア66名



エントリー状況の推移 (Runnetのみ)



事前準備

- ▶ メディアへの積極的な広報により大会開催を周知
- ▶ 第1回大会に参加いただいたご家族を紹介(京都新聞)

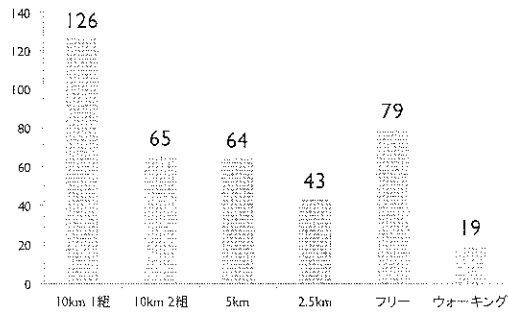




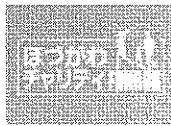
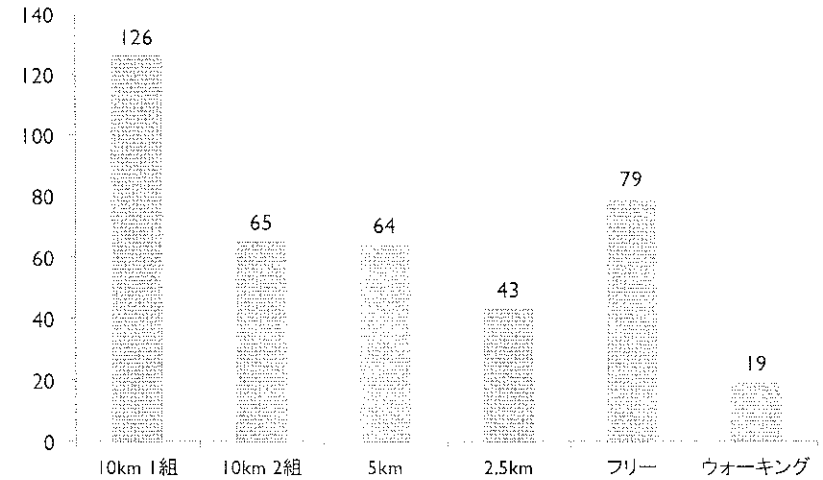
参加者について (事前エントリーのみ)

参加者の居住地

京都府	179
うち亀岡市	83
大阪府	35
兵庫県	18
滋賀県	15
奈良県	7
東京都	3
愛知県	2
三重県	1
愛知県	1
三重県	1
福井県	1
島根県	1
香川県	1
合計	266



種目別参加者数



当日のようす



**保津川保全
笑顔でラン**

参加者の一部は、市内から350人



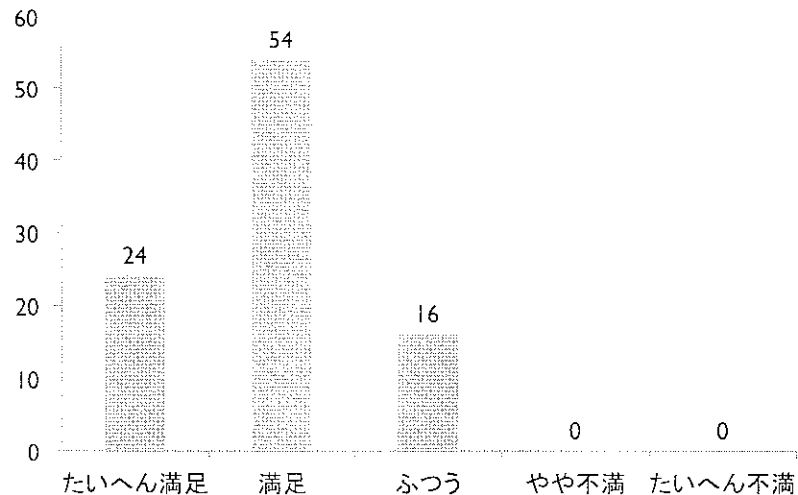
決算

収入		支出	
亀岡市支援金	700,000	直接経費	1,245,393
参加者負担金	787,600	間接経費	30,000
協賛金、寄付金	105,500	小計	1,275,393
託児利用料	3,000	対象経費	320,735
合計	1,596,128	合計	1,596,128

対象経費



満足度

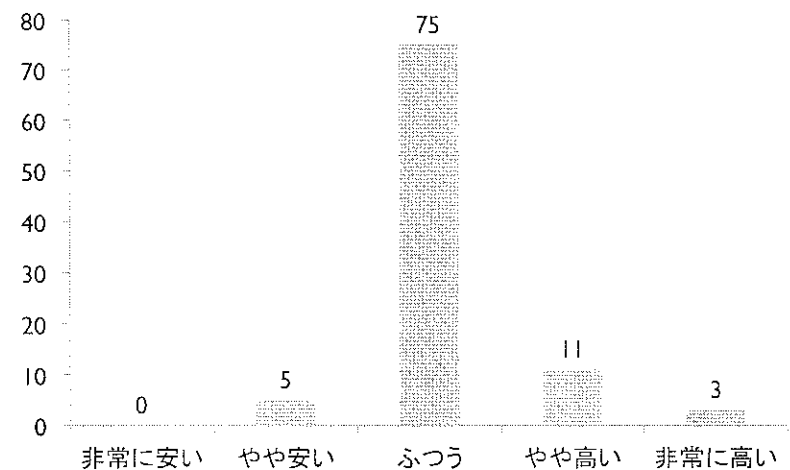


自由記述

- ▶ ゴール後にふつうに豚汁が食べたい
- ▶ 来年も参加します！
- ▶ 今のままでよいと思います。
- ▶ スタッフの皆さん、ありがとうございました！
- ▶ トイレの数がもう少し多いといい
- ▶ 親子で走れる大会が少ない中、幼児対象の枠があったから
- ▶ 前回よりコースが走りやすかった
- ▶ 周回コースでないほうがいい
- ▶ 砂利道が走りづらかった
- ▶ トイレが少ない
- ▶ コース途中にトイレがあるとよかった
- ▶ スタッフのみなさま、ありがとうございました
- ▶ 給水のゴミ箱の位置がもっと先にあったほうがよかった
- ▶ 紅葉が綺麗なところに走りたい
- ▶ タイムが分かるICチップが欲しい
- ▶ また参加したいので、引き続き開催して欲しいです。ありがとうございました。



コースの満足度



まとめ

- ▶ よかった点
 - ❖ 目標を上回る参加者と寄附金の獲得。
 - ❖ 市内の各種団体を通じて多数のボランティアスタッフの参加を実現。
 - ❖ 各行政機関との連携により、積極的な広報を展開。
 - ❖ NPOなど比較的新しい市民団体との交流の場となった。
- ▶ 改善すべき点
 - ❖ 天候、他大会を考慮した開催時期の再検討。
 - ❖ さらなるスポンサーの獲得による自立した運営。

「マッかちん」は、大井町区民の健康増進と、地域交流の場となることを目指して開催されています。今後も、より多くの区民が参加できるよう、さらなる改善を続けてまいります。